

株主のみなさまへ

おいしさとやすらぎを  
ハウス食品

第67期 営業のご報告 (第2四半期)

2012年4月1日～2012年9月30日

# HOUSE FOODS REPORT





取締役社長 浦上 博史

企業理念

食を通じて、  
家庭の幸せに役立つ

コーポレートメッセージ

おいしさとやすらぎを

株主のみなさまには日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2013年3月期第2四半期の事業の概況をご報告させていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

海外事業は引き続き売上拡大したものの、  
デフレ傾向が続く国内市場での価格競争の  
激化などにより減収となりました。

当第2四半期連結累計期間における経営環境は、欧州債務危機や中国をはじめとする新興国の経済減速懸念、円高の長期化などから、全般的な景気動向は足踏み状態となっており、加えて内需型の食関連業界においては、長引くデフレ傾向が継続し、厳しい環境となっております。

このような状況のもと、当社グループは、当連結会計年度から第四次中期計画をスタートし、各事業における成長戦略の実現に向けた取組を進めております。

売上面では、コア事業である香辛・調味加工食品事業、健康食品事業において、お客さまの食生活パターンの変化による影響を受けたほか、価格競争も一段と熾烈さを増し、加えて昨年の震災特需による反動もあり、前年同期実績を大きく下回りました。一方コア育成事業の海外事業は、進出各国において引き続き売上を拡大いたしました。国内コア事業における減収を補うことができず、当第2四半期連結累計期間の売上高は

1,038億31百万円と前年同期比5.1%の減収となりました。

販売競争の激化によるマーケティングコストの上昇や  
主力製品カテゴリーの減収による影響などから、  
大幅な減益となりました。

利益面では、海外事業が順調に利益拡大できましたものの、国内マーケットの販売競争の激化からマーケティングコストが嵩みしたほか、主力製品カテゴリーの減収による影響を受けたことなどから、連結営業利益は46億58百万円、前年同期比41.7%の減益、連結経常利益は54億58百万円、前年同期比34.8%の減益、連結四半期純利益は30億14百万円、前年同期比37.2%の減益となりました。

中間配当金は1株当たり2円増配の15円と  
させていただきました。  
また、自己株式の取得・消却を実施いたしました。

当社グループは、株主のみなさまへの利益還元を経営上重要なテーマの一つとして位置付け、業績・事業計画などを総合的に勘案し、連結配当性向30%以上を基準とした安定的な配当を継続することを基本方針としております。

当期につきましては、業績予想が当初の予想を下回る見通しとなりましたが、中間配当金は、当初予想どおり、前中間期から2円増配の1株につき15円とさせていただきました。期

末配当金につきましても、1株につき15円とさせていただきます、年間配当金は前期から2円増配の1株につき30円とさせていただきます予定です。

なお、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行および株主還元の一環として、100万株の自己株式を取得し、11月に全株の消却を実施いたしました。

通期の業績予想を修正させていただきました。

2013年3月期の見通しでございますが、国内消費の低迷やデフレ傾向下での競争激化など先行き不透明な部分が残されており、当社グループを取り巻く経営環境は依然厳しいものがあります。

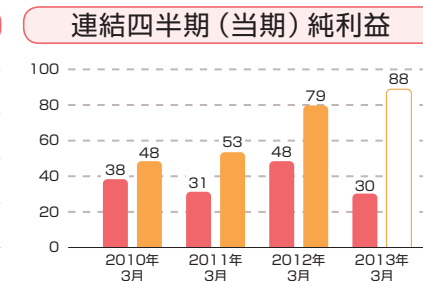
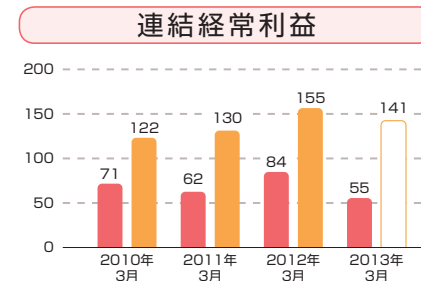
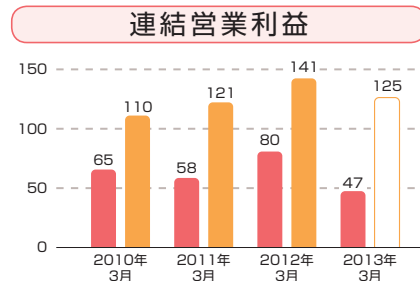
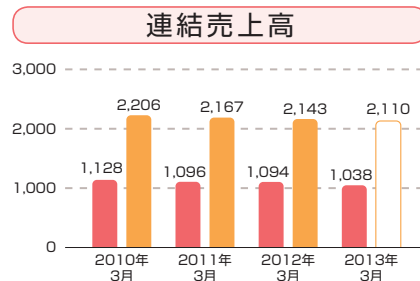
下期は、売上・利益の一層の改善に努めてまいります。当第2四半期連結累計期間の業績を勘案し、期初の通期業績予想を修正し、連結売上高は2,110億円（前期比1.5%減）、連結営業利益は125億円（前期比11.1%減）、連結経常利益は141億円（前期比9.0%減）、連結当期純利益は88億円（前期比11.0%増）を予定しております。

何卒株主のみなさまにおかれましては、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2012年12月

[単位：億円]

■ 第2四半期累計  
(中間期)  
■ 通期  
□ 通期目標





香辛・調味加工食品事業

ルウカレー製品は、地産地消企画など需要喚起に努めるとともに、低価格帯市場でのお客さま接点拡大に注力しましたものの、市場の活性化につなげることができず、低調に推移いたしました。

レトルトカレー製品、ラーメン製品は、昨年の震災特需の煽りを受け、前年同期実績を大きく下回りました。

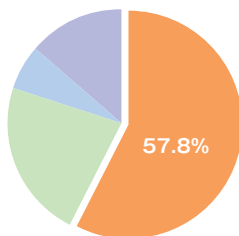
スパイス製品については、ねり製品が安定していたほか、パンの新しい食べ方を提案した「トーストシーズニング」が大好評をいただき、需要の創造に寄与いたしました。昨年発売の「のっけてジュレ」が売上一巡したこと、トータルでは前年同期実績を確保することができませんでした。

シチュー製品については、残暑が長引きシーズンインが遅れたことなどから、全体的に低調な売上となりましたが、よりお求めやすい価格帯の新製品「コクの贅沢シチュー」を発売し、比較的スムーズに市場に受け入れられました。今後も、幅広いお客さまからご支持をいただけるようにブランド力の強化に努めてまいります。

以上の結果、香辛・調味加工食品事業の売上高は599億91百万円、前年同期比6.4%の減収となりました。利益面では、主力製品群が苦戦したことなどから、営業利益は26億89百万円、前年同期比46.8%の減益となりました。



<売上高構成比>



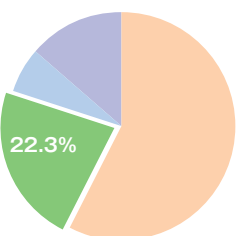
健康食品事業

健康食品事業は、「ウコンの力」シリーズがお客さまのお酒への接し方の変化や競合製品との販売競争の影響を受けたことに加え、「C1000」シリーズが震災後の需要増の反動により減収となりました。一方で、育成ブランドとして注力している「メガシャキ」が、テレビコマーシャルの効果もあり、若年層への広がりが見られたことなどから、売上を伸ばいたしましたものの、健康食品事業全体では苦戦を強いられました。

以上の結果、健康食品事業の売上高は231億12百万円、前年同期比9.8%の減収となりました。利益面では、主力ブランドにおける減収が影響し、営業利益は10億3百万円、前年同期比47.2%の減益となりました。



<売上高構成比>



海外事業

第四次中期計画においては、海外事業をコア育成事業と位置付け、3つのエリア(米国・中国・東南アジア)ごとに独立した事業推進体制を整備し、事業展開をより加速させるべく取組を進めております。

米国エリアの豆腐事業は、昨年6月の価格改定後も市場に問題なく受け入れられ、その後順調に売上拡大を達成でき、増収増益となりました。

中国エリアのカレー事業は、日本式カレーの認知が着実に進んできていることに加え、積極的な販売促進企画が奏功したことなどから売上を大きく伸ばしました。また利益面でも、コストダウンなどに取り組みました結果、黒字化を達成することができました。

東南アジアエリアでは、タイにおいて、今夏より機能性飲料製品を新発売し、販路拡大に取り組んでおります。また、ベトナムにおいては、来春の事業開始に向け、加工食品製造工場の建設が順調に進んでおります。

レストラン事業は、中国・台湾・韓国エリアを中心として店舗拡大が進み、引き続き売上、利益を拡大することができました。

以上の結果、海外事業の売上高は66億54百万円、前年同期比9.3%の増収、営業利益は5億36百万円、前年同期比32.8%の増益となりました。



運送事業他

グループ会社ハウス物流サービス(株)の運送・倉庫事業は、引き続きグループ外企業の物流業務の受託拡大が進み、増収となりましたが、コスト上昇の影響などから減益となりました。一方で、コンビニエンスストア向けの

総菜等製造事業を営むグループ会社(株)デリカシェフは、デザート類が好調に推移しましたほか、パン・総菜も販売促進活動が奏功し、またロス削減活動に注力したことなどから増収増益を確保いたしました。

以上の結果、運送事業他の売上高は140億74百万円、前年同期比3.3%の増収、営業利益は4億28百万円、前年同期比28.7%の減益となりました。



○事業セグメント別 連結売上高・連結営業利益  
単位:百万円

事業セグメント	連結売上高	連結営業利益
香辛・調味加工食品事業	59,991 (93.6)	2,689 (53.2)
健康食品事業	23,112 (90.2)	1,003 (52.8)
海外事業	6,654 (109.3)	536 (132.8)
運送事業他	14,074 (103.3)	428 (71.3)

( )内は前年同期比%

本年4月に国際事業本部長に就任した広浦取締役専務執行役員に、今後の海外事業の展開についてインタビューを行いました。

インタビュー

海外事業の位置づけ

当社グループは、現在7つの国と地域で事業を展開しており、約1,000人のメンバーが、日々世界中のお客さまに製品とサービスをお届けしています。

4月からスタートした第四次中期計画では、海外事業を「コア育成事業」と位置づけています。事業拡大への事業基盤作りと将来への仕込みを行い、「コア事業」といえるレベルまで事業を確立させるよう、海外事業のシフトアップを進めています。

事業展開と成長戦略  
4つの事業で成長戦略を推進

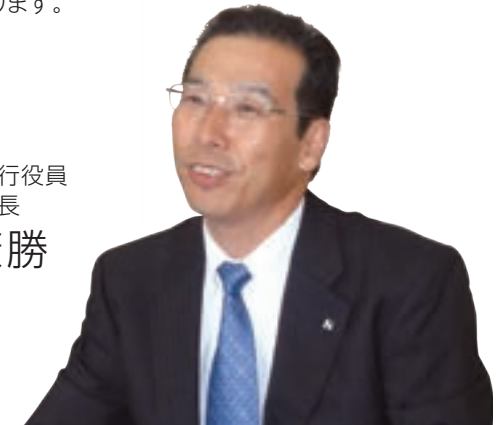
第四次中期計画では、4つの事業に経営資源を集中的に投下していきます。具体的には、①米国の豆腐事業、②中国のカレー事業、③東南アジアでの加工食品事業、④レストラン事業です。米国では、ヘルシーフードとしての豆腐の価値が高まっており、豆腐しらすなどの関連製品も好調に推移しています。中国では、日本式カレーが着実に浸透し、国民食へと育つ手応えを感じています。成長著しい東南アジアでは、タイ、ベトナムで事業を立ち上げました。レストラン事業は、カレーメニュー普及のさきがけとしての役割を担い、今期末には米国、中国、台湾、韓国で82店舗体制の達成をめざしているなど、4つの事業とも確かな成長と大きな期待を感じています。

海外事業の推進体制  
米国・中国・東南アジアに  
エリアセンターを設置

現地の食文化に浸透していくには、文化の壁を越えてスピードを高める努力に加えて、圧倒的な喜び・驚きと信頼を合わせ持った製品・サービスを提供する必要があります。そのためには現地のお客さまをよく理解することと、最適なビジネススキームを構築することが欠かせないと考えています。これらのことを高いレベルで実現できる仕組みとして、4月に米国・中国・東南アジアの3カ所にエリアセンターを新設し、現地のお客さまのニーズを素早く取り入れ、スピーディーな経営判断ができる体制を整えました。

海外事業のめざす姿  
「世界中の食卓の幸せ」に貢献

当社の企業理念である「食を通じて、家庭の幸せに役立つ」の考え方をもとに、国内で培った技術や品質を、海外に拡大することで「世界中の食卓の幸せ」に貢献したいと考えています。その結果として、将来的には海外事業比率を売上高20%、利益30%まで高めることを目標にしています。海外での新しい文化の創造に向かって、当社グループの力を結集してまいります。



取締役専務執行役員  
国際事業本部長  
広浦 康勝

新製品

タイで機能性飲料を発売!

タイにおいて、2011年に現地企業オソサファ社との合弁会社であるハウスオソサファフーズ(株)を設立し、事業を開始しました。

タイでは、生活水準の向上とともに健康ニーズが高まっており、今年7月、「C-vitt ビタミンレモン」をベースに、現地のお客さま向けにアレンジした「C-vitt(シービット)」を発売しました。多くのタイのみならず、さまざまな販路での取り扱いを拡大しており、手軽にビタミン補給ができることご好評をいただいております。



<ビタミンレモン> <ビタミンオレンジ>

第四次中期計画における  
4つの集中事業

【中国：カレー事業】

カレーライスを中国国民食に育成



【東南アジア：加工食品事業】

タイ・ベトナムの  
現地ニーズにあった  
事業の立ち上げ

【米国：豆腐事業】

全米の人々に「TOFU」をお届けする

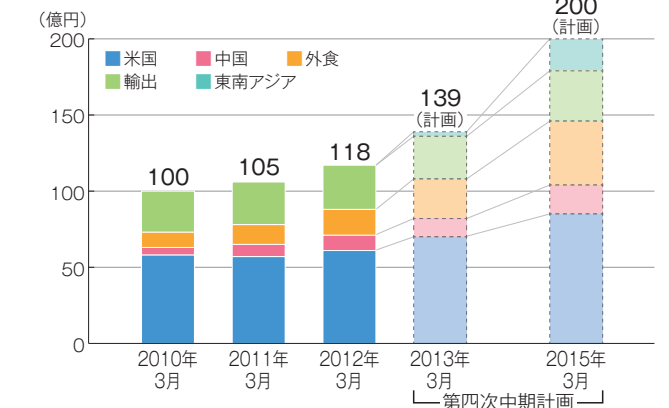


【レストラン事業】

展開各国でのNO.1 カレーレストランをめざす



海外事業の売上高推移(連結)





新製品

コクの贅沢シチュー

“濃厚チーズ”と“炒め玉ねぎ”の旨みが溶け込んだ、贅沢なコクのシチュー

濃厚チーズと炒め玉ねぎの旨みとコクが特徴の、リッチな味わいのルウタイプのシチューです。クリーミーな乳製品の風味の<クリーム>と、トマトとデミグラスの風味の<ビーフ用>の2品をラインアップいたしました。濃厚なコクの贅沢な味わいをお楽しみいただけます。



<クリーム>



<ビーフ用>

バラエティ

マカロニグラタンクイックアップ ミートソース用

「マカロニグラタンクイックアップ」に、<ミートソース用>が仲間入り!

ひとつのお鍋でできると人気の「マカロニグラタンクイックアップ」に、<ミートソース用>が仲間入りしました。完熟トマトのコクと旨みがきいた、とろみのある濃厚なソースが特徴のグラタンです。ご家庭でのストック率の高い「ひき肉」「玉ねぎ」「牛乳」を使用するので、簡単にメニューの幅が広がります。(別ゆでしないマカロニつき)



<2皿分>

フレッシュアップ



<ホワイトソース>は、よりなめらかでクリーミーなソースになりました。

バラエティ

ウコンの力 クール(Cool)

メントールで気分スッキリ。爽快な1日の始まりを!

「ウコンの力」に、メントールの冷涼感でスッキリ爽快な<クール>が新登場! スーツと爽快な<クール>がシャキッとした一日のスタートを応援します。色々なシーンで「ウコンの力」をお楽しみください。



フレッシュアップ

女性向けの<カシスオレンジ味>は、5つのビタミンを配合し、おいしさ・パッケージを刷新しました。

※無果汁

「やさしくラクケア」シリーズ

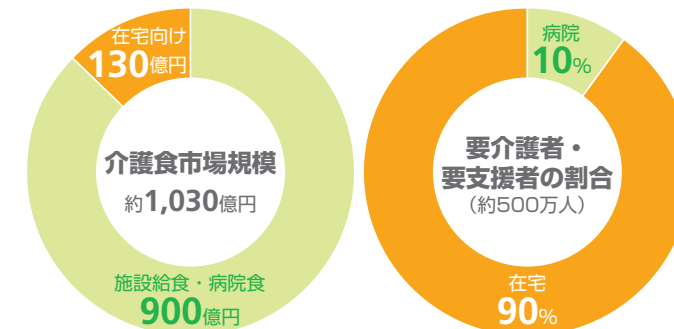
～価格とおいしさを両立させたケアフード(在宅介護食)を拡充～

高齢化社会が深まっていくなか、ケアフード、特に在宅向けケアフードは拡大が期待される成長市場です。

当社は、加齢などで食べ物が食べづらくなった方や、カロリー調整が必要な方、たんぱく調整が必要な方など、食事に対して何らかの配慮が必要な方にも毎日の食事を楽しんでいただくため、栄養はもちろん、おいしく食べやすいケアフードをお手頃な価格で提供しています。

介護食、カロリー調整食、たんぱく調整食を幅広くラインアップした「やさしくラクケア」シリーズは、インターネットの通販サイトのほか、一部のドラッグストアや量販店など、約1,500店舗でご販売いただいております。

※ケアフード…食事に対して、食形態や栄養成分など、何らかの配慮が必要な方向けの食品



出典:富士経済 高齢者向け食品市場の将来展望 2011

やさしくラクケア

詳細は右記 URL を参照ください ▶ <http://housefoods.jp/products/special/rakucare/index.html>

介護食

加齢などで食べ物が食べづらくなった方に配慮した食品をそろえました。

代表的製品  
まるで果物のようなゼリー



まるで果物のようなゼリー <もも>

カロリー調整食

カロリー調整が必要な方に配慮した食品をそろえました。

代表的製品  
80kcal  
レトルトカレー・シチュー



野菜とビーフのカレー

おいしさ  
そのまま  
80kcal!



野菜とチキンのクリームシチュー

たんぱく調整食

たんぱく調整が必要な方に配慮した食品をそろえました。

代表的製品  
低たんぱくミート入り  
レトルト食品

低たんぱくミートとは…  
食物繊維やコンニャクイモ抽出物などで、肉の風味・食感を再現する当社独自の技術を使用した肉様食品です。



低たんぱくミート入り 欧風カレー たんぱく質2.8g

おいしく  
たんぱく質管理!



低たんぱくミート入り 麻婆なす たんぱく質1.4g

連結貸借対照表

単位:百万円

	当第2四半期末 (2012年9月30日現在)	前期末 (2012年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	108,772	110,165
固定資産	128,497	129,927
有形固定資産	53,521	53,553
無形固定資産	1,476	2,467
投資その他の資産	73,500	73,908
資産合計	237,269	240,092
<b>負債の部</b>		
流動負債	39,613	41,108
固定負債	9,120	9,742
負債合計	48,733	50,850
<b>純資産の部</b>		
株主資本	185,310	185,205
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	23,868	23,868
利益剰余金	152,805	151,392
自己株式	△ 1,311	△ 4
その他の包括利益累計額	2,746	3,580
その他有価証券評価差額金	4,634	5,531
為替換算調整勘定	△ 1,887	△ 1,950
少数株主持分	479	456
純資産合計	188,536	189,242
負債純資産合計	237,269	240,092

連結損益計算書

単位:百万円

	当第2四半期 累計期間 (2012年4月～ 2012年9月)	前第2四半期 累計期間 (2011年4月～ 2011年9月)
売上高	103,831	109,393
売上原価	56,922	58,750
売上総利益	46,909	50,644
販売費及び一般管理費	42,251	42,657
営業利益	4,658	7,987
営業外収益	975	711
営業外費用	175	330
経常利益	5,458	8,368
特別利益	13	7
特別損失	411	706
税金等調整前四半期純利益	5,060	7,669
法人税等	2,024	2,876
少数株主利益又は少数株主損失(△)	22	△ 9
四半期純利益	3,014	4,802

連結キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	当第2四半期 累計期間 (2012年4月～ 2012年9月)	前第2四半期 累計期間 (2011年4月～ 2011年9月)
営業活動によるキャッシュ・フロー (うち減価償却費)	3,552 (2,396)	9,643 (2,574)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,817	△ 8,353
財務活動によるキャッシュ・フロー (うち配当金の支払額)	△ 3,111 (△ 1,599)	△ 1,206 (△ 1,178)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 35	△ 140
現金及び現金同等物の増減額	△ 6,411	△ 55
現金及び現金同等物の期首残高	41,190	46,091
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,779	46,036

貸借対照表

単位:百万円

	当第2四半期末 (2012年9月30日現在)	前期末 (2012年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	91,704	94,901
固定資産	146,311	147,641
有形固定資産	29,858	30,339
無形固定資産	904	1,186
投資その他の資産	115,549	116,116
資産合計	238,015	242,542
<b>負債の部</b>		
流動負債	38,198	41,956
固定負債	3,197	3,647
負債合計	41,396	45,603
<b>純資産の部</b>		
株主資本	191,903	191,344
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	23,815	23,815
利益剰余金	159,450	157,584
自己株式	△ 1,311	△ 4
評価・換算差額等	4,716	5,595
その他有価証券評価差額金	4,716	5,595
純資産合計	196,619	196,939
負債純資産合計	238,015	242,542

損益計算書

単位:百万円

	当第2四半期 累計期間 (2012年4月～ 2012年9月)	前第2四半期 累計期間 (2011年4月～ 2011年9月)
売上高	70,025	75,187
売上原価	34,241	36,519
売上総利益	35,784	38,668
販売費及び一般管理費	32,226	32,825
営業利益	3,559	5,842
営業外収益	2,313	2,062
営業外費用	276	359
経常利益	5,595	7,545
特別利益	10	1
特別損失	379	627
税引前四半期純利益	5,227	6,919
法人税、住民税及び事業税	1,760	2,499
四半期純利益	3,467	4,420



## スパイス製品のさらなる品質向上をめざして

スパイス製品のさらなる品質向上をめざして奈良工場のスパイス製造ラインを刷新しました。コショウや唐辛子などの「ポピュラスパイス」は、新製法を採用し、コショウはより香り高く、唐辛子は焙煎釜仕立てにより、深みのある香りと色合いにすることで、料理を一層引き立たせることができるようになりました。容器も従来の丸型瓶から角型瓶に変更し、持ちやすく、ご家庭でも収納しやすいデザインとなりました。

また、パンの新しい食べ方を提案した「トーストシーズニング」もこのラインから誕生しました。

### 「ポピュラスパイス」が“4つの新”でリニューアル

- |                   |                  |              |               |
|-------------------|------------------|--------------|---------------|
| 1<br>新製法          | 2<br>新容器         | 3<br>新ラインアップ | 4<br>新工場      |
| 新しい製法で香り、色調がアップ!! | もちやすい! 開閉もしやすい!! | 売場での視認性向上!!  | 品質向上、生産能力向上!! |



奈良工場スパイス製造ライン



スパイスの素材感のあるパッケージを採用しました。

トーストにふりかけるだけで簡単アレンジ!

## スパイスをもっと身近に感じていただくための活動

当社では、スパイスに関する「使い方がわからない」などの悩みを解消し、魅力や楽しさをお伝えするために、全国各地でセミナーや料理講習を開催しています。そこで活躍するのが『スパイスマスター』です。スパイスマスターは、各種養成トレーニングを経て社内認定された“シニアスパイスアドバイザー”から任命された高度な専門性を有する社員です。その他、スパイスに関する一般的な問合せにお応えできる“スパイスアドバイザー”を設けており、社員の半数以上が資格を有し、企業活動のさまざまな場面で、スパイスの魅力を広める活動を続けております。



スパイスカレッジの様子。第67期上期は76回実施しました。

スパイスに関する詳細は、下記URLを参照ください。

<http://www.h-spice.jp/>

## ハウス食品グループの継続した復興支援活動

当社グループは、東日本大震災発生以降、さまざまな復興支援活動を行ってまいりました。今後の継続した復興支援の一つの形として、宮城県石巻市雄勝町を中心に震災後のまちづくりを行うNPO法人や、日本赤十字社の日赤キッズクロスプロジェクトに協力しています。

雄勝町では、一般社団法人「Sweet Treat 311」の「子どもたちが体験を通じて、感じ、学ぶことができる場を創造し、地元の方々が主役となって運営することで地域再生をめざす」という活動方針に賛同し、豊かな自然を通じた体験学習や、アフタースクールなどの学習支援活動への運営支援のほか、当社グループ社員による復興支援活動をさせていただいております。今年は、当社グループ社員47名が2カ月間にわたって、子どもたちとの交流や漁師さんの

お手伝い、炊き出しなどの活動をさせていただきました。

日赤キッズクロスプロジェクト「サマーキャンプ2012 in クロスヴィレッジ」には、当社グループ社員16名が社員ボランティアとして参加し、東日本大震災によって被災した子どもたちの体験学習や交流プログラムをサポートしました。



アフタースクールでの活動の様子

サマーキャンプ2012 入村式

## お客様の声を製品に反映させるQUIC活動

当社は、お客さまからいただいた貴重なご意見を製品開発に活かし、“ものづくりの力”を高めるため、QUIC (Quality Up by Initiative of Customers) という、品質向上活動を推進しています。

お客さまからのご意見はさまざまですが、これまでも製品の使いやすさや開封しやすさをはじめ、環境に配慮した工夫のほか、アレルギー物質を除いた製品開発など、多方面から検討を行い、お客さまによりご満足いただける製品の開発・改良に注力しております。

### QUIC活動による製品改良例

#### ★ 咖喱屋カレー



お客様の声  
箱がかさばって捨てにくい

カルトン下部にも開け口(ミシン目)を追加し、かさばらず、たたみやすくなりました。

#### ★ シチューミクス



お客様の声  
開封時に内袋も破ってしまった

誤って内袋が破れないように開け口を改良しました。

会社概要

(2012年9月30日現在)

- ◆創業年月日 1913年11月11日
- ◆設立年月日 1947年6月7日
- ◆資本金 9,948,323,523円
- ◆事業内容 食品製造加工ならびに販売、その他
- ◆従業員数 2,049名
- ◆所在地 大阪本社 / 〒577-8520  
大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号  
TEL 06-6788-1231 (大代表)
- 東京本社 / 〒102-8560  
東京都千代田区紀尾井町6番3号  
TEL 03-3264-1231 (大代表)

役員

(2012年9月30日現在)

- |             |   |        |   |
|-------------|---|--------|---|
| 代表取締役会長     | 小 瀬 昉   | 常務執行役員 | 野 村 孝 志<br>久 住 喜代晴                                |
| 代表取締役社長     | 浦 上 博 史   |        | 西 田 太   |
| 代表取締役専務執行役員 | 松 本 恵 司   | 執行役員   | 一 柳 和 文<br>青 山 元 寛<br>坂 元 竜 二<br>柴 原 弘 一<br>小 池 章 |
| 取締役専務執行役員   | 井 上 始<br>広 浦 康 勝                                    |        | 高 木 敬 文<br>谷 口 浩                                  |
| 取締役常務執行役員   | 藤 井 豊 明<br>工 東 正 彦<br>田 口 昌 男<br>藤 村 浩 史            |        | 村 田 竜 比 登   |
| 取締役         | 山 本 邦 克   |        |   |
| 監査役         | 伊 藤 研 三<br>加 藤 智 一<br>由 本 泰 正<br>三 浦 勁 勤<br>仁 瓶 眞 平 |        |   |

グループ会社

(2012年9月30日現在)

- 連結子会社 (19社) ●国内会社 ●海外会社
- |                     |                         |                    |
|---------------------|-------------------------|--------------------|
| ●株式会社デリカシェフ         | ●ハウスフーズホールディング USA Inc. | ●株式会社壺番屋           |
| ●サンハウス食品株式会社        | ●ハウスフーズアメリカ Corp.       | ●株式会社ヴォークス・トレーディング |
| ●ハウスウェルネスフーズ株式会社    | ●上海ハウス食品有限会社            | ●サンヨー缶詰株式会社        |
| ●ハウス物流サービス株式会社      | ●上海ハウスカレーココ壺番屋レストラン有限会社 | ●株式会社堀江大和屋         |
| ●株式会社ハウス食品分析テクノサービス | ●ハウス食品(上海)商貿有限会社        | ●イチバンヤ USA Inc.    |
| ●ハウスあいファクトリー株式会社    | ●ハウスフーズベトナム有限会社         | ●大連堀江大和屋食品有限公司     |
| ●サンサプライ株式会社         | ●ハウスオソサファフーズ株式会社        | ●壺番屋香港有限会社         |
| ●ハイネット株式会社          | ●台湾カレーハウスレストラン株式会社      | ●株式会社ジャワアグリテック     |
| ●朝岡スパイス株式会社         | ●韓国カレーハウス株式会社           |                    |
| ●ハウスビジネスパートナーズ株式会社  |                         |                    |
- 持分法適用関連会社 (8社) ●国内会社 ●海外会社

株式の状況

(2012年9月30日現在)

- 発行済株式総数 106,765,422株
- 発行可能株式総数 391,500,000株
- 株主総数 55,592名
- 1単元の株式数 100株

(注) 2012年11月9日付自己株式消却後の発行済株式総数は105,761,763株となります。

《2013年3月期配当金》

	1株当たり配当金
第2四半期末	15円 (前期比+2円)
期末(予想)	15円 (前期比±0円)
年間(予想)	30円 (前期比+2円)

大株主

(2012年9月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
ハウス興産株式会社	12,585,616	11.90
株式会社HKL	6,000,000	5.67
株式会社三井住友銀行	3,668,027	3.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,980,100	2.82
公益財団法人浦上食品・食文化振興財団	2,872,200	2.72
浦上 節子	2,728,569	2.58
味の素株式会社	2,693,543	2.55
日清食品ホールディングス株式会社	2,463,400	2.33
日本生命保険相互会社	2,306,010	2.18
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,102,800	1.99

(注)持株比率は、自己株式(1,003,659株)を控除して算出しております。

株主優待制度の変更と拡充のお知らせ

従来、年1回だった株主優待品の贈呈を年2回に変更しました。(2012年6月上旬の贈呈より)

100株以上1,000株未満

[1,000円相当の詰合わせ]



1,000株以上

[3,000円相当の詰合わせ]



※写真は、2012年12月上旬に贈呈した株主優待製品です。

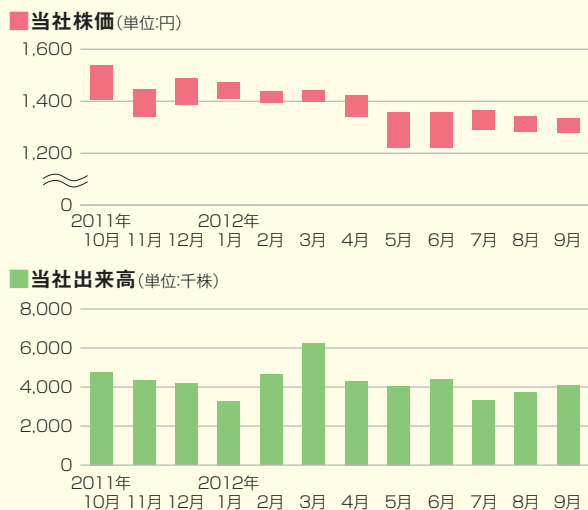
毎年3月31日および9月30日現在100株以上保有し、かつ3月31日および9月30日現在の株主名簿に2回以上連続で記載された株主さまが対象となります。



## 株主メモ

- **事業年度** 4月1日から翌年3月31日
  - **中間配当制度** あり
  - **定時株主総会** 毎年6月開催
  - **株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関** 三井住友信託銀行株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
  - **株主名簿管理人 事務取扱場所** 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
大阪市中央区北浜四丁目5番33号
  - **【郵便物送付先】** 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
  - **【電話照会先】** ☎0120-176-417
- ※平成25年1月より郵便物送付先・電話照会先が変更となります。  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
☎0120-782-031
- **公告の方法** 電子公告により、当社ホームページ<http://housefoods.jp>に掲載して行きます。  
ただし、電子公告を行えない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
  - **上場証券取引所** 東京・大阪
  - **証券コード** 2810
  - **ハウス食品株主さま窓口** ハウス食品株式会社 総務・法務部 総務課  
〒577-8520 大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号  
電話(06)6788-1214

## 株価・出来高の推移 (東京証券取引所)



## ○株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きのお問い合わせ先は、下記のとおりです。

### 証券会社の口座に記録された株式

#### 【お手続き、ご照会の内容】

#### 【お問い合わせ先】

- 単元未満株式の買取請求
- 届出住所・姓名などのご変更
- 配当金の受領方法・振込先のご変更

口座を開設されている  
証券会社

- 郵送物の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

三井住友信託銀行株式会社  
証券代行部

☎0120-176-417

※平成25年1月より電話照会先が変更となります。

☎0120-782-031

### 特別口座に記録された株式

#### 【お手続き、ご照会の内容】

#### 【お問い合わせ先】

- 単元未満株式の買取請求
- 特別口座から証券口座への振替請求
- 届出住所・姓名などのご変更
- 配当金の受領方法・振込先のご変更
- 郵送物の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

三井住友信託銀行株式会社  
証券代行部

☎0120-176-417

※平成25年1月より電話照会先が変更となります。

☎0120-782-031

#### 特別口座について

株券電子化実施(2009年1月5日)に際し、証券会社等に口座を開設し、証券保管振替機構(ほふり)に株券を預託されなかった株主さまのお名前、ご住所などのデータは、当社が三井住友信託銀行に開設した「特別口座」に記録されております。

## ハウス食品株式会社

〒577-8520 大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号  
電話(06)6788-1231 (大代表)  
<http://housefoods.jp>



この報告書は、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インクを使用して印刷しています。